

校長室だより

日本福祉大学附属高校 2014 年 7 月 1 日

万人の福祉のために
真実と慈愛と献身を



試験終了、夏休み計画をしっかりと！

1 学期末試験が本日で終了しました。試験の手応えはどうでしたか。明日から試験返却に入り、9 日（水）追試者が発表されます。残念ながら**追試となった人は 15～17 日の追試**を受けなければなりません。追試に合格できないと進級や卒業が危うくなります。それだけでなく、福祉大学始め他の大学の推薦を得ることができません（他の進路も同じです）。3 年間の成績が推薦対象となります。1 年からコツコツと真面目にとりくむことが大切なのです。追試でなくても、全員が 1 学期の学習や生活を振り返ることが必要です。

学校では近々、「**生活と学習に関するアンケート**」を実施します。1 学期を振り返る材料にしてください。

私たち教員も今後の指導の手掛かりにしたいと考えています。後日担任の先生から配布予定です。

あと半月余りで夏休みです。（7/18 終業式）今の間に夏休みの計画をしっかりと立てておきましょう。学習の計画・進学補習・部活動・ボランティア・インターンシップ・進路の研究調査など個人や学年に応じて「作戦」を立てましょう。特に 3 年生の諸君、昔から言われていますが「**夏を制する者は受験を制する**」です。1 学期は部活に汗を流して十分に勉強に力を入れることができなかった人は、この夏休みじっくり取り組んでください。40 日間集中して学習すれば、大きな収穫を得られることは間違いなし。

1、2 年生は基礎学力をつける夏休みにしましょう。部活動もしっかり頑張りましょう。文化祭など 2 学期に向けた準備もしておく夏休みにしたいものです。Well prepared means no worries. 充実した夏休みを！

和太鼓全国大会

全国高等学校総合文化祭（郷土芸能部門）は、7 月 29～31 日の 3 日間、茨城県神栖市の文化センターで開催されますが、このほど詳細が発表されました。

○本校出場日：7 月 30 日（水）

○演奏時間：15:10～10 分間）です。

○演目：絆 和太鼓組曲「海嶺」より～

日頃の成果が発揮できるよう頑張ってください。

野球部は 7 月 19 日（土）対新城高
阿久比球場 12:30～（雨天順延）

PTAバス旅行開催しました

6 月 21 日（土）PTA 懇親バス旅行が開催されました。心配されていた天気も次第に回復し、到着する頃には暑いぐらいの日差しに。今回も学年でバス 1 台と、後援会の皆さんの 1 台を加えてバス 4 台の賑やかな旅行となりました。バスの中では自己紹介やゲーム、ゲーム・ビンゴ大会など行い、あっという間に京都に着きました。昼食のあと、清水寺はじめ東山の散策や、買い物を楽しみました。文化委員さんご苦労様でした。参加された皆様、ありがとうございました。

学園創立 60 周年記念式典

講演会・祝賀会が行われました

～和太鼓部が祝賀演奏～

佐藤 PTA 会長様にも出席いただき、6 月 8 日（日）名古屋市内のホテルで学園創立 60 周年を祝う催しが開催されました。祝賀会場は立錫の余地もないほどの大勢の参加で、60 年間の学園の果たしてきた役割の大きさを感じることができました。

祝賀会では知事始め各界からご祝辞をいただきました。本校和太鼓部が「海嶺」を演奏して、60 周年に花を添えました。今年度は大学 61 周年（高校 56 周年）となります。新たな出発です。

メキシコから留学生来校中

6 月 24 日から日本メキシコ学院の生徒 2 名が本校に短期留学中です。（バレンティナさんとヘラルド君）滞在中は書道や日本料理に挑戦したり、常滑やきもの散歩道やビーチランドを訪問したりして、日本の文化や歴史を学びます。



今月のちょっといい話

素敵な合唱と手話コーラスをありがとう

6月14日（土）は本校の公開見学会でしたが、日頃の生徒諸君のとりくみをぜひ中学生の皆さんに見てもらいたいと、オリエンテーション合宿の合唱コンクールで優勝した1Dの合唱「アナと雪の女王」をボランティア



ア部による手話コーラスをつけて披露してもらいました。中学生や保護者の感想です。「Let It Goの第一声から鳥肌が立ちました。」「『ありのまま』の合唱とその手話を見られてとっても素晴らしい

しかったです。」「1Dの合唱が良かったです。クラスがまとまっている感じがした。」などお褒めの言葉をいただきました。ご苦労さんでした。

福祉大学生が教えます！一緒に勉強しませんか

インターンシップで本校に来ている、3人の大学生が毎週火・木曜日の授業後の1時間1年生を対象に学習会を開いてくれています。教科は英語と数学で、課題や小テスト対策のための勉強を一緒に取り組んでくださいます。生徒にとってはお兄さんお姉さんという感じで、先生に聞くよりも気軽に聞けるという声も。同じキャンパスに大学がある本校ならではの利点と言えます。積極的に参加してください。

「木の絵画」が飾られています

高校生協売店に続く廊下に立派な「絵」が飾られています。学園で警備の仕事をしているYさんが、趣味で作られているものです。「絵」と言っても実際は「木の絵画」で、天然の木を薄くスライスして、かんなくず状態にしたものを張り合わせた珍しいものです。生徒諸君に見てもらえればと、貸してくださっています。一度見てください。



編集後記

- 6月はワールドカップなしでは語れません。日本は残念な結果に終わりましたが、試合後座り込んでうなだれている日本選手を慰労しているコロンビアの選手の姿に心温まるものを感じました。
- 「日本は試合では負けたがマナーでは勝った」と外国のメディア。日本人が観客席のゴミ拾いをしている様子を伝えていましたが、日本人のマナーの良さは世界中から称賛されました。
- 違う角度の話ですが、世界から見た日本のイメージは「科学技術の国」と共に、「戦争をしない国、平和を愛する国」とのこと。とてもうれしいことです。
- しかし今、「日本が変わろうとしている」と心配する声が、国の内外から寄せられています。「集团的自衛権」・・・少し前まで一般の国民にはなじみの薄い言葉が今大きく取り上げられ、日本の平和を左右する事柄になっています。ちょうど今、国会内外で白熱した議論が行われています。
- 6月23日は沖縄戦終結から69周年でした。「鉄の暴風」により4人に1人が亡くなったという悲劇の島。修学旅行で講演してくださった安里さんの言葉が今も耳に残ります。「今の日本は戦争前の状況と似ている。」・・・未来に生きる高校生こそ関心を持たなければいけない問題です。
- 昨年の慰霊の日に朗読された6歳の少年の詩「へいわってすてきだね」が絵本になったと新聞報道。大人も子どもも願いは「平和な世の中」。君たち高校生は何をすればいいのだろう。